

Pharmaizm

ファルマイズム

株式会社 ファルマ

弘前市北横町19-1 Tel 0172-37-6016(代)
発行：編集委員会 印刷：小野印刷所
■新年号(12月1月合併)

賀正

二〇一八年

新年のご挨拶

代表取締役 石川 隆之



あけまして
おめでとうご
ざいます。本
年も昨年同様
よろしく願

いたします。

安倍首相は昨年9月に衆議院を解散し解散総選挙を行いました。この解散に大義はありませんでした。森友・加計学園問題隠しの解散だったことは言うまでもありません。この解散直前にも内閣改造などで目先をかわしたり必死に追及逃れをしてきました。また消費税を10%に増税するにあたり、使い道を問ひ、教育無償化のために使うと言ひ出しています。森友・加計学園など安倍首相のお友達には国家予算からタダ同然で土地を払い下げたり、国家予算を無駄遣いしておきながら、教育はもとより医療・介護・福祉にはお金を出し渋っています。消費税の使い道として、元々福祉関係には使う気などなかったと言えます。消費税を増税しなくとも富裕層からの増税などで福祉に向けた財源は十分確保出来るはずで

す。また昨年の衆議院選挙は結果だけみれば自民党が勝利したように見えますが、野党の分裂などによる消極的支持にほかなりません。そんな中、現憲法を守る立場の政治勢力の躍進など希望の光が見えたのも事実です。立憲主義や現憲法を守るような勢力と幅広い市民の連合により情勢を切り開いて行かなければなりません。

ん。アベノミクスによって滴り落ちてくるはずの恩恵は少なくとも、ここ青森県に於いては感じることはできません。アベノミクスはとくに失敗しているのです。医療・介護・社会保障分野に手厚く、弱者にやさしい政治を実現させるため自治体交渉を行うなどの努力をしています。さて昨年10月に、新健生病院・健生クリニックのオフィスアルカディア地区での医療活動が開始されました。弊社に於いてもそれに合わせ「ファルマ弘前薬局」での医療活動を開始しました。地域の皆様・生協組合員の皆様・関係団体の方々・工事関係者の方々など多くの人たちの支援に支えられファルマ弘前薬局は順調な滑り出しをみせています。本当にありがとうございます。この場を借りて感謝申し上げます。まだ開始して日も浅く、利用者様にはご迷惑をおかけしていることが多々あるかと思ひます。今後は利用者様のご意見を伺うなどし、さらに利用しやすく地域に必要とされるため「健康サポート薬局」となる準備を開始したいと思っております。

この間、政府やマスコミを通じて保険薬局バッシングが行われ続けています。私たちはバッシングに負けることなく、これまでに行ってきた医療活動に確信をもち、さらに医療活動を発展させ、真に患者様や地域住民に寄り添った「かかりつけ薬局」を目指し頑張ります。平和の問題や社会保障の充実、ひいては誰もが安心して住み続けられるまちづくりを目指し今年も努力していきます。弊社の全6店舗の薬局を重ねてよろしく願ひいたします。

新年

新年のご挨拶



昨年のご挨拶で薬剤師業務は「モノ」から「ヒト」への移行を意識する必要があると書きましました。実際、正確で迅速な調剤の追求に加えて、様々な生活問題を抱えた方の暮らしの質の向上を目指す服薬説明や処方提案、それらに関わる多職種への情報提供など薬局に求められる機能や薬

これからの利用者様や地域の皆様の健康をしっかりとサポートできる薬局を目指して職員一同、力を合わせて努力します。今年もよろしくお願ひ致します。



藤代薬局
薬局長 木村 匡宏

あけましておめでとうございます。

今年の4月には診療報酬・介護報酬の同時改定があり私たち薬局職員にとって厳しい情勢は続くと思ひますが、薬局や地域の現場で私たちがやるべきことは変わりません。

第42期 全日本民医連教育委員長・教育担当者会議

ファルマ弘前薬局 事務長 工藤 敏子

11月18日(土)・19日(日)、第42期全日本民医連教育委員長・教育担当者会議に参加しました。

9年に文科省が高校生の政治活動を禁止し、政治教育を規制したことが、主権者意識の低い、政治的教養の貧困な有権者を大量に生み出した要因であると、政治教

育活動の視点から憲法を守る運

若者の傾向とサポートの仕方を教育者が学ぶことも大切だと感じました。



工藤事務長

政治意識を高めていく教育と「誰のため何のために存在しているのか」まさに理念教育が求められています。

あけましておめでとうございます。



ファルマ浪岡薬局
薬局長 福士 隆政

昨年10月22日(日)投票の衆院選で、自民公明両党は310議席以上、つまり憲法改正の発議に必要な3分の2の議席を確保しました。このまま行けば安倍政権の改憲スケジュールは計画どおり、今年の通常国会で発議される

国にとって安上がりで効率的な体制づくりが着々と進められる

9条は「最後の砦」です。何としても憲法改悪を阻止し、安保法制、共謀罪法を廃止したいと思ひます。

政府は「戦争する国づくり」と一体に「税と社会保障の一体改革」として社会保障全面改革プログラムを進めています。その本質は、権利としての社会保障を否定し自助、自立と家族相互の助け合いを社会保障の基本とする改革なのです。

「北海道・東北地協2017年度中堅薬剤師研修会」に参加して

藤代薬局 薬剤師 澁谷 友明

11月11日(土)・12日(日)に行われた北海道・東北地協2017年度中堅薬剤師研修会に参加しました。

まず初めに、民医連副作用モニター

の歴史や今までの取り組みについて聴きました。民医連副作用モニターは制度発足後40年が経ったということに驚きました。

これからの多様なニーズにえられる薬局であり続けられるよう職員一同、日々研鑽を積み重ねていこうと思ひます。

今年4月には診療報酬・介護報酬の同時改定があり私たち薬局職員にとって厳しい情勢は続くと思ひますが、薬局や地域の現場で私たちがやるべきことは変わりません。

この研修会に参加して、自分たちの業務に活かせることを学ばせていただきました。ありがとうございました。



実際に副作用報告を入力している真剣な様子の澁谷薬剤師

あけましておめでとうございます。



弘前調剤センター
薬局長 津川 俊彦

これは地域アンケートを踏まえたものです。

実際に利用している患者様からは、感謝の言葉と激励の言葉もいただき、身が引き締まる思いです。私たちは、地域第一の「地域から求められる薬局づくり」に挑戦することになりました。門前薬局から面分業への展開、在宅業務、健康サポート薬局として健康教室の開催など厚労省の「患者のための薬局ビジョン」に合致するモデル

「医療・介護の新しい2つの柱学習会」に参加して

ファルマ 一ツ谷薬局 主任補佐 須藤 江利加

11月10日(金)青森市浪岡にある花岡農村環境改善センターにて行われた「医療・介護の新しい2つの柱学習会」に参加しました。講師は、全日本民医連副会長の馬渡耕史氏でした。

講演の中で印象的だったのは、『世界のプライマリヘルスケアの前進』についてです。

今、日本では病気になること、そしてそれは個人の責任であると考え、健康格差が広がっています。貧困に陥った人が

貧困と格差の広がる日本では、他人を気遣う余裕もなく、自分のことで手一杯になってしまっている人への思いやりが薄れているのではないかと感じました。

馬渡氏のお話の中で、「民医連だから貧困とたたかう」ということではなく、医療人として貧困

を病因病態の一つとして日常的に評価し、その「治療」をするという視点をもち、患者が抱える社会問題について患者と共に社会に声をあげ社会に働きかける。」というお言葉があり大変共感しました。

講師の馬渡耕史副会長



青森県薬剤師会学術大会

ファルマ弘前薬局 薬剤師 盛 友莉恵

11月23日(木)、第36回青森県薬剤師会学術大会がホテル青森にて開催されました。テーマは「新たな時代！飛躍を目標として」地域包括ケアシステムの中で求められる薬剤師」でした。

ポスター発表では、阿保香織薬剤師が「健康サポート薬局としての取り組み」という演題で発表されました。弘前調剤センターで二度行われた健康教室の様子や、健康サポート薬局となった経緯を紹介しました。「健康にかかわる情報提供の他に、薬局内を見学させる企画は新鮮だね」「健康サポート薬局になるには何が一



ポスター発表した阿保主任

ファルマ制度教育学習会
「国保県単位化・医療介護問題」

本部 課長補佐 鈴木 健仁

11月17日(金)、21日(火)に毎年行われる制度教育の社内学習会が、石田久弘前市議会議員を講師に行われました。今年度は、国保県単位化と医療と介護の問題を中心に、普段生活していく上で問題になることが予想される身近な事例をもとに話しされました。行政の視点からは、国保の収支を改善させる目的で、健診受診率や後発医薬品の利用

弘前市に関しては、市立病院と国立病院の統合問題があります。病床数は減り、入院から在宅・介護施設へのシフトが急速に進むことが予想されます。国保県単位化では、国保料は上がると予想されているそうです。

「自治体キヤラバンに参加して」

弘前調剤センター 主任補佐 佐々木 良太



弘前市との懇談の様子

11月2日(木)に弘前市役所で行われた青森県社会保険推進協議会による自治体キヤラバンに、今回初めて参加しました。会議室には長テーブルが向かい合わせで置かれていました。市役所職員との距離を感じました。

市役所側は19名、ファルマからは高松常務、館田事務長、私の3名と各組織代表者合わせて13名が参加しました。質疑応答の中で一番印象に

「いま必要なこと、やらなければならぬことを考えるのはもちろん、実際に行動に移す」これが、ますます重要だと改めて感じる学習会となりました。



講師の石田弘前市議会議員

新人紹介



ファルマ弘前薬局 新入社員 中岡 奈良

初めまして、11月よりファルマ弘前薬局で働かせていただきましたことになりました奈良岡貴子です。

以前は歯科助手の仕事をしていました。幅広い年代の患者様と接することが多い医療の現場で、また仕事ができることを嬉しく思います。

休日はお菓子を作ったり、家族と一緒に運動をしたりします。対戦ではつい熱くなり子供相手に本気を出してしまいます。

こんな私ですが、毎日1つでも多くできることを増やし、地域の皆様や会社に貢献できるように頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。

を送ることが出来ない人を差し押さえて一体何になるんだろうと、怒りにも似た感情が湧いてきました。

今回は聴くだけでしたが、自治体キヤラバンは直接行政と対話することが出来る貴重な場です。で、私自身も学習し、日頃から地域の方々の声を拾い上げ次の機会に訴えたいと思います。



ファルマ弘前薬局 新入社員 中澤 沙耶

11月からファルマ弘前薬局でお世話になっている中澤沙耶です。医療関係の仕事は初めてなのでわからないことばかりですが、優しい先輩方にご指導していただき毎日たくさん勉強させていただいております。ファルマ弘前薬局にはたくさんの患者様が来局されるのですが、先輩方の患者様に対する思いやりや温かさ、人としてすごく勉強になりました。

私もそんな風に患者様に寄り添える仕事が出来たいと思っています。患者様から度々お声がけを頂くのですが、「弘前調剤センターの時から通っているんだけど新設されて綺麗になってよかったね」「いつも親切な対応をありがとうございます。」「など先輩方が今まで積み重ねてきた結果だと痛感しました。私も患者様にそう思ってもらえるような対応を心がけて一日も早く戦力になれるよう日々努力したいと思っています。まだまだ未熟者ですが宜しくお願い致します。

写真紹介

ファルマ共済会
親睦会

11月25日(土)アートホテル弘前シティにて、ファルマ共済会親睦会が開催されました。恒例の新会員紹介、じゃんけん大会などが行われ大いに盛り上がりしました。



じゃんけん大会で大盛り上がり

弘前調剤センター
健康教室

12月9日(土)弘前調剤センターにて健康教室が開催され、15名の地域の方が参加しました。血管年齢、握力、足指力を測定した後、ファルマレンジャーと一緒に歌を歌いながら、椅子を使って体操をしました。



ファルマレンジャーと一緒に歌いながら体操中

わたしのお気に入り

ファルマ弘前薬局 主任 高橋 和希

わたしのお気に入りの場所は「ライブハウス」と「フェス」です。写真はこれまでに買ったライブTシャツやフェスGOODSのほんの一部です。

モッシュって知ってますか？ライブ中に熱狂的な人が盛り上がりすぎて巻き起こる激しいおしくらまんじゅうのことです。基本的にはピョンピョン左右に跳ねてぶつかり合っているだけです。でも、結構強めにぶつかってエルボーしてくる人もいますし、足を踏まれるのはしょっちゅう、変な水分が上から降ってきたり、上から人が降ってきたり、降ってきた人の足で顔面蹴られたり、ヌメヌメの肌が触れ合ったりするけれど、それでも大丈夫！OK！って思ったらGOしてみましょう！！それらを全て受け入れられた人にしかわからない素晴らしい世界が待っています！少し怖いと感じる人もいますが、フェスにいるキッズたちは基本的にイイ人です。転んでも手を差し伸べてくれるし、靴が脱げたり、ケータイや財布を落としてもちゃんと返ってきます。靴ヒモが解けたら、堂々と結び直しましょう！結び終わるまでモッシュに巻き込まれないようにガードしてくれますよ。

わたしは、月に1回はライブハウスやフェスに行かないとダメな体になってしまいました。ライブは麻薬です。依存性があり耐性ができます。あなたもこっちの世界に来ませんか……？

